

# あまみ療育だより



№58. 2014. 1月号  
 発行：チャレンジサポート奄美  
 〒894-0025  
 奄美市名瀬幸町15-2 (2F)  
 TEL 0997-69-4545  
 Fax 0997-69-4534  
 E-mail: [csa@khh.biglobe.ne.jp](mailto:csa@khh.biglobe.ne.jp)

## 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。若駒のみなぎる力と躍動の「午年」。  
 今年もみんなで一緒に元気に活動しましょう！！

さて、去年は障害者総合福祉法が施行され、障害のある方々が「地域で暮らす」体制の整備がなされつつあります。チャレンジサポート奄美では、4月より新しい事務所に移転し、ゆらいや星の園と共に業務委託を受け、基幹相談事業所の一翼を担うことになりました。またサービス利用計画の作成とモニタリングがやっと本格的に始まり、施設入所者や児童デイの利用者を訪問しながら、より良いサービスの提供につながるよう事業所と協力しています。

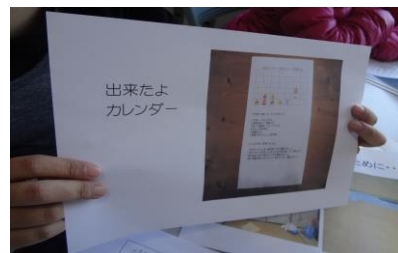
基本的には、障害のある人々のニーズにそって活動を組み立てていくスタンスなので、1月には、早速台風で延期になった県療育センターの巡回相談、もちつき、思春期の親子キャンプ、保育所訪問事業のまとめ、2月は小児神経専門外来、眼科相談会、お母さんの学習室、リレーファイル、サポートブックの作成など盛りだくさんですが、今年も元気いっぱいスタッフ一同頑張っていきます。

今年は、のぞみ園が児童発達支援センターとなり、名実共に地域の子どものための発達相談・支援を行うこととなります。老朽化したのぞみ園やあしたば村の建て替えも検討されています。またまたあわただしい年になりそうですが、皆様のご支援をお願いいたします。みんなで作るNPO法人チャレンジサポート奄美です。協力できる方は遠慮なく事務局にご連絡ください。

理事長 向井 扶美



**お母さんの学習室開催中** 昨年9月～2月の期間で南九州病院療育指導室のスタッフを招いて4回シリーズでお母さんの学習室を開催しています。7名のお母さんが参加して「親訓練」「行動療法」の基本的な考え方「行動の観察と記録の仕方」等についての講義の後グループに分かれて学習しています。観察したことを細かく記録する等、毎回でる宿題は、手間のいる作業ですが、今よりもっと「観察上手なお母さん」、「ほめ上手なお母さん」、「教え上手なお母さん」、「工夫上手なお母さん」、「待ち上手なお母さん」に近づくことを目指して参加されています。参加されているお母さんの感想をお聞きしました。



参加させてもらって改めてわが子や自分のことを客観的に観る機会になりました。わが子のことをつかっているはずなのにイライラする自分だったり、子どもの将来を考えると不安になったりいろいろありますが・・・わが子というよりは自分の考え方や対応を時々見直すことも必要なのだな～と他のお母さん方を見ていつも思います。よい機会を与えてくださってありがとうございました。

松元広人母

前よりも子どもを尊敬できるようになりました。そんなすぐにはできないだろうと思っていたのにしっかり習慣づいてくれ、大人になって働けるんだと自信がつかえました。これから少しずつでも独立に向け、親子ともども頑張っていきたいです。とってもためになりました。

松元みそら母



## 「発達障害幼児に対する早期支援事業」活動報告

全国心身障害児福祉財団事業

春日保育園を指定園として、訪問支援活動(3回)、研修会(3回)、子育て支援フェスタを実施し、今年度の事業を終了しました。保育士の早期に気づく目と支援の力量を向上する目的に現場で子どもをみながら医師、教育委員会、養護学校等、地域の関係機関が共に討議ができた事は保育園にとっても有意義な活動であったと思います。



### 子育て支援子どもフェスタに参加して 藤 真理子さん

11月17日(日)にりゅうゆう館にて“子どもフェスタ”がありました。

声優の佐久間レイさんが子どもたちに語りかける読み聞かせの会です。「アンパンマンのバタコさんがやってくる!しかも、無料!!」とのことで、“これは行かなくちゃ!!”と、中学2年生の娘と一緒にってきました。プロの声優さんなので、感情豊かに絵本を読まれるだけでも素晴らしいのですが、挿絵が会場の大画面に映し出されて、アニメーションのように動いたり、情景にあわせてピアノの生演奏が加わったりと、豪華な“エンターテインメント・ショー”でした。

“うちの子は、もう中学生だけで大丈夫かなあ?”という心配もどこへやら親も子ども、手遊び歌に夢中になり、おさるやじゃがいもの物語にグラグラ笑って、存分に楽しめました。“いのち”のメッセージも込められた絵本や歌もあり、“動”“楽しい”・・・だけでなく、心がじんとして、余韻が残るような静かな時間もあり、本当に豊かな内容でした。このイベントは、保育園での巡回指導や講演会をおこなう「発達障害幼児に対する早期支援事業」のプログラムの中のひとつです。現場での実践を向上させる実践的な事業だけでなく、こういう“お楽しみ”企画もついている珍しい事業だなあ、と思いました。こういう事業を発掘し、島に届けて下さるチャレンジのスタッフの皆様に感謝します。ありがとうございました。



## 訪問支援活動・研修会

発達障害児に対する早期支援事業に取り組んで

春日保育園 園長 白濱 律子

今回の事業で3クラス公開保育を行うことになり、其々の担任が子どもの動線の確認や気になる子への配慮をどうするのか?共通の意識を持つことをしっかり話し合うことがまず出来たこと。今できている事や目標とするところの確認やアドバイスを様々な職種の方からいただく事ができたことはとても参考になり、日頃の保育の見直しや確認という所では、自分たちのスキルアップに繋がりました。また保護者にも事業に関わることで承諾を得るために保育園での様子等をしっかりと話す事ができ、前向きに子どもと向き合えるようになった親子もいた。何といても読み聞かせコンサートはとてもファンタジックな世界に吸い込まれるように、子どもたちが夢中になっていたのが、とても印象的でした。最後に當島茂登先生のムーブメントあそびの実践と理論が学べたことも大きかったです。この事業を通して職員の資質が上がった事は事実です。いつもの保育だけど、子ども理解のための工夫を考える私たちでありたいです。指定園に選んでいただき感謝しています。





# 毎日頑張ってますよ!

思春期は、自分らしいあり方や将来への不安、友達との仲や恋愛など様々なことに気持ちが揺れ動きます。それらの悩みに向き合いながら日々を過ごしています。今回、大島養護学校高等部2年の里真さんに今感じている事を言葉と絵で表現して頂きました。

## 今、何を大切にしたいのか・・・何を感じるのか・・・。

**～自由になりたい～ 県立大島養護学校高等部2年 里真**  
 ぼくは、今何を語るのか、そう思っている。僕は、何が出来るのか、悩んでいる。

どうすれば自分と人との関わり、話はできるけど自分から話しかけることができない。今、落ち込むところなのか自分でもわからない。

今、自分が大切にしたいのは、自分の生命。ぼくは昨年もうダメなんだ、死んだ方がましと思った。それが続いてげんちょうにふりまわされ逃げていた。本当は母と一緒にいたいのに何者かにつれさらされて母は何回もぼくをよんで泣いた。涙がポロポロ流れ落ち、悲しみがあつた。でも、あきらめないで友達と一緒にさがしに出かける。そんなひびもあった。今、何を考えるべきなのか、自分の気持ちやあたえられた力でげんちょうをこれまで抑えることができなかった。さいきん、それぞれの中で自分自身はどんな事をして楽になりたいのか、そういうことがある。

昨年、今年が悪い年だった。こんどは、新しい年になり、いちばんあたらしい世界、3年生になる。

しっかりしないといけない。何を感じるのかまったく分からない。

ぼくは、自由がほしい。たとえば、誰かに言われた、好きにすればいい。イライラしたとき、はっさんしたいとき、どうやってはっさんすればすっきりするのか考えてもいられない。これが今の自分の気持ち。らいねんは、村松けんさんとのドラムのコラボレーションがある。たくさんの人をかんどうさせたい。しょうらい、ぼくは歌手になりたい、まずげいのうかいに入って、歌手になるぞー。せーのーおー。



タイトル  
 けいごをわらう明るく楽しい何を感じる里真  
 12月25日

# ご成人おめでとうございます

1月4日「新成人お祝い会」が、のぞみ園にて行われました。この会は、のぞみ園卒園式に「のぞみ園で成人式をしましょう」と誓いをしたことから始められ、今回で3回目。今年は、5名の新成人とビールで乾杯！近況報告としては、無田匠さんは、義肢製作所にて勤務。車の免許をとり休日には友達とのドライブを楽しんでいるとのこと。無田賢さんは、タクシー会社の事務をされ、一人暮らしをしながら社会人として頑張っているとのことでした。



それぞれ自立に向け頑張っている姿に、保護者をはじめ、これまで関わってきた方々と、成長を喜びながら、幼い頃の思い出話に花が咲が咲き楽しいお祝い会となりました。

## 奄美地区自立支援協議会 第2回子ども部会

12月10日、各機関の発達相談会の実施状況、移行支援シート、リレーファイルについて保健所・療育施設・市町村・保育所幼稚園・小中学校・養護学校から関係者を集い意見交換など行いました。7月は、徳洲会病院小児科山口医師が参加され、今回は、奄美中央病院小児科酒井医師が参加され医療現場からの状況を伺いながら移行支援シートの利用状況や記入の際の内容について意見交換を行うことができました。つなぎとしての移行支援シートの活用で子どもたちの支援が継続できたらと思います。3名のお母さんをモニターとして検討し作成しているリレーファイルも提案させて頂きました。今年も現状をふまえながら就学支援体制など地域の課題の整理を行っていきます。

## 昔あそびお届け隊



名瀬地区の保育園へ出向いて、竹馬、コマ、お手玉、おはじき等を行っています。どの子どもも興味津々で挑戦し出来た時の笑顔は最高です。

昔遊び名人さん大活躍しています。今年もよろしくお願ひします。



## 眼科相談会開催

11月の眼科相談会を開催しました。本人は何もしていないという感覚なのにビジョントレーニングの効果が出ているお子さんがおられうれしい限りです。



## 浅野視能訓練士、のぞみ園訪問

子どもたちの様子をみながら絵本を読む時に絵本に反射する光のことや明るすぎない環境にすることなど保育士さんにお伝えしました。



## 視知覚も気になる段階からの早期支援

乳幼児期では・・・

例えば手をふってみたり、ぬいぐるみを動かしながら追わせてみたり、顔の表情を変えるなど見る事や見ている物の位置、状態が変化する事を気付かせる取り組みは有効です。視知覚の発達のためには、目の前、上下方向や左右におもちゃを提示しつかませるような遊びは効果的です。

眼科相談会に関するお問い合わせやご予約は、チャレンジサポート奄美まで。

## 発達障害に関する講演会案内



日時：1月18日(土) 15:00~16:30  
 場所：ばしゃやま村  
 演題 発達障害の思春期に遭遇する問題と支援  
 講師 中京大学現代社会学部教授・臨床心理士 辻井 正次先生

発達障害児者支援に関わり「アスペ・エルデの会」の立ち上げの中心となられた辻井先生をお招きし、中高生を中心とした思春期の問題と支援のあり方についてお話していただきます。定員に限りがございます。定員になり次第締め切らせていただきます。

申し込み先 チャレンジサポート奄美 TEL69-4545 FAX69-4543

# 相談会のご案内

## 眼科相談会

場所 むかいクリニック  
 日時 2月21日(金) 13:30~  
 2月22日(土) 8:30~  
 2月23日(日) 8:30~12:00  
 スタッフ 朴医師・浅野視能訓練士  
 ※次回は5月ごろに開催予定

## 発達相談会(喜界町)

日時 2月24日(月)  
 スタッフ のぞみ園 大山氏  
 チャレンジド 永井氏

## 小児神経専門外来・発達療育相談会

日時 2月14日(金) 県立大島病院  
 2月15日(土) のぞみ園  
 スタッフ 小児科 寛山医師 理学療法士もしくは作業療法士・発達相談員(南九州病院)

## チャレンジサポート奄美の動き

もちつき 1月11日 9時半~(のぞみ園)

## 離島や保育所への支援やイベント

- 1月14日 保育所支援(瀬戸内ここ)
- 1月15日 保育所支援(赤徳保育所)
- 1月18日 辻井正次氏講演会(笠利)
- 1月29~30日 保育所支援(喜界町)  
27日 コーディネーター連絡会
- 2月12~13日 施設支援(沖永良部)  
14~15日 保育所支援(与論町)
- 14~15日 小児神経専門外来・発達療育相談
- 15~16日 発達支援通園事業連絡協議会(与論)
- 17~19日 保育所支援(徳之島町)
- 21~23日 眼科相談会
- 3月14日 コーディネーター連絡会

## 奄美地区自立支援協議会関連

1月16日 第3回 定例会(宇検村にて)  
 未定 こども部会

<編集後記> 今年は、たづなをしっかりと